

が国保税約18%、国県支出金約22%、前期高齢者交付金約27%、共同事業交付金約23%、一般会計繰入金約7%、歳出が保険給付費約58%、後期高齢者支援金等約11%、介護納付金約4%、共同事業拠出金約24%となる。

**議案第97号**

**平成29年度一般会計補正予算**

〔政晴会〕〔民進党〕〔日本共産党〕

〔問〕これまでは川越地区消防組合の所有する消防車で排水作業に当たっていたが、川越市が新たに排水ポンプ車を導入する理由について伺いたい。

〔答〕排水ポンプ等一式を搭載した車両の機動性を生かして、被害が発生しうる箇所・地域へ出動させ、浸水被害および道路冠水被害の軽減を図る。  
〔問〕1台の排水ポンプ車では複数箇所での内水被害に対応できない。今後、複数台の導入を検討してみてはいかがか。  
〔答〕災害対策本部と連携して可搬式ポンプも併用し

〔問〕赤字解消計画とはどのようなものか。

〔答〕国保財政健全化のため、医療費適正化や国保税の収納率の向上、適正な税率の設定等により、赤字繰入を段階的に解消・削減していく計画である。

ながら対応していく。

〔問〕市長として今後、危機管理意識をどのように高めていくつもりか。

〔答〕台風第21号の対応について十分検証、反省を加えた上で、今後二度と同じような事態が起こらないよう体制を組んでいく。………

〔問〕台風第21号の際の可搬式排水ポンプの稼働状況は。

〔答〕岸町1丁目地内において、現地調査班が自治会と連携し、排水ポンプを4台使用し、排水作業に当たった。また、寺尾地内において、現地調査班

が排水ポンプを3台使用し、排水作業をした。

〔問〕江川流域都市下水道の本復旧工事における改良点は。

〔答〕江川流域都市下水道については、護岸の背面に水圧が発生しないようにコンクリートで防護する。………

〔問〕今回の災害における施設復旧や被災者支援に関し、各種支援制度の適用や拡充などを国や県に要請する考えはあるか。

〔答〕災害復旧事業や、内水対策に関しては、平成29年11月9日、国土交通省と財務省に、被災者の生

活再建や治水対策に関しては、12月4日、埼玉県知事へ要望活動を行った。早期の復旧、復興を図るため、国や埼玉県の種類

制度の弾力的な運用等を、機会を捉えて要望したいと考えている。

〔問〕台風第21号の対応では現在も多くの職員が現場での対応などで苦労していると思いが、市長はどう感じているか。

〔答〕通常の業務と並行しながら、災害復旧業務、被災者のための支援業務に、熱心にかつ真摯に取り組んでいると評価している。

**決議第4号**

**川合善明市長に対する問責決議**

〔民進党〕

〔問〕市長がこれまで問題と指摘され、議会への反省や謝罪を繰り返してきた内容は。

〔答〕平成25年、公契約条例に関する発言で議会が流会、翌年3月議会で謝罪。26年には、市長後援会の会計で不適切な支出があ

題を放置したことを謝罪。28年には、市内中学生の傷害事件に関し裁判経過を長期間議会に報告しなかったことを謝罪。29年

には、国会議員の新春の集いで共産党が議会を空転させたと言及し、軽率だったとして謝罪するなど枚挙にいとまがない。

**同意第25号**

**農業委員会委員の任命**

〔日本共産党〕〔民進党〕

〔問〕農業委員会委員の任命について、市長から「議案の作成過程で議員からの干渉行為があった」とする報告が議会運営委員会で行われたが、市長は議員から直接働き掛けられたのか、職員などを通して働き掛けを知ったのか。

〔答〕干渉行為は直接受けていない。担当職員が受けたと報告を受けている。………

〔問〕議案作成に関して、担当部署に干渉行為があったのか。

〔答〕今回の同意案件について、総務部としては、農業業者等を先、利害関係を有しない者を後という順番に決めた。利害関係を有しない者を考える中で、

農業委員としての在任期間の長さを基準として、順番を整理した。その中で干渉という言葉方は、なかったと考えている。

〔問〕市長の干渉発言との整合性をどのように考えるのか。

〔答〕議会の皆さまより建設的な意見をいただき、市長に説明または報告していく中で、市長に干渉を受けたと捉えさせ、今回の事態を引き起こした。議会の皆さまに深くおわびするとともに、今後このようなことがないように努めていく。

